

母子健康看護学分野

構成メンバー

- 教授 高橋 衣 (小児看護学)
- 教授 大橋 十也(小児科学)
- 教授 松永 佳子(母性看護学)
- 准教授 永吉 美智枝(小児看護学)
- 准教授 濱田 真由美(母性看護学)



左から永吉・高橋・大橋・松永・濱田

領域の特徴

□小児看護学領域

小児看護学では子どもの権利擁護、成長発達をめぐる問題、子どもと家族をめぐる問題、子どもを取り巻く社会的問題などを幅広く取り上げ小児看護を探究します。

今までに修了した院生(博士前期課程)の課題(過去3年)は以下の通りです。

「乳幼児における父親役割と子どもの気質との関連」

「在宅で医療的ケアを受ける重症心身障害児のきょうだいのライフイベントに伴う体験と幼少期からの家族との生活の関連」

□母性看護学領域

母性看護学では、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母子保健の国内外の現状や課題、それらの課題に対する助産師の役割や価値について検討し、より良い支援のあり方や方途を探究します。

今までに修了した院生(博士前期課程)の課題(過去3年)は以下の通りです。

「NICUに入院した早産児の退院時栄養方法に影響する要因—完全母乳栄養群と混合栄養群の比較—」

「夫立ち会い分娩における夫への支援に対する助産師の認識—夫への関わりの困難感に焦点を当てて—」

教員の研究テーマ

○高橋 衣 教授

- 子どもの権利擁護に関する研究
- 子どもの権利擁護実践尺度の開発
- 子どもの権利擁護実践を高める教育プログラムの開発
- 看護倫理教育に関連した研究

○大橋 十也 教授

- 遺伝性代謝性疾患の病態と治療法に関する研究
- 遺伝性代謝疾患の診療の質向上に関する研究
- 遺伝性代謝疾患の疫学に関する研究

○松永 佳子 教授

- 多職種連携によるプレコンセプションケアに関する研究
- 助産診断名の開発
- 施設と地域との連携のためのアクションリサーチ
- 助産師の価値に関する研究
- 産科病棟の人員配置に関する研究
- 助産ケアの価値に関する研究
- 子育て夫婦の役割調整プログラムの開発

○永吉 美智枝 准教授

- 小児がん患児の心理社会的発達と親の心理
- 小児がん経験者の自己形成過程と長期フォローアップ
- 小児がん経験者の学校生活支援ツールの開発
- 小児がん経験者の移行期支援
- 親子の関係性支援スキルアップ研修の開発

○濱田 真由美 准教授

- 授乳支援と権力論に関する研究
- 授乳支援をおこなう助産師に関する研究
- 授乳に関連する女性の経験
- 質的研究方法論と哲学的基盤に関する研究